

2021年8月8日 午前礼拝 説教:大木英雄牧師
「御霊と知恵に満ちていたステパノ」

使徒 6:1～10

- 6:1** そのころ、弟子たちがふえるにつれて、ギリシヤ語を使うユダヤ人たちが、ヘブル語を使うユダヤ人たちに対して苦情を申し立てた。彼らのうちのやもめたちが、毎日の配給でなおざりにされていたからである。
- 6:2** そこで、十二使徒は弟子たち全員を呼び集めてこう言った。「私たちが神のことばをあと回しにして、食卓のことに仕えるのはよくありません。
- 6:3** そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知恵とに満ちた、評判の良い人たち七人を選びなさい。私たちはその人たちをこの仕事に当たらせることにします。
- 6:4** そして、私たちは、もっぱら祈りとみことばの奉仕に励むことにします。」
- 6:5** この提案は全員の承認するところとなり、彼らは、信仰と聖霊とに満ちた人ステパノ、およびピリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、パルメナ、アンテオケの改宗者ニコラオを選び、
- 6:6** この人たちを使徒たちの前に立たせた。そこで使徒たちは祈って、手を彼らの上に置いた。
- 6:7** こうして神のことばは、ますます広まって行き、エルサレムで、弟子の数が非常にふえて行った。そして、多くの祭司たちが次々に信仰にはいった。
- 6:8** さて、ステパノは恵みと力とに満ち、人々の間で、すばらしい不思議なわざとするしを行っていた。
- 6:9** ところが、いわゆるリベルテンの会堂に属する人々で、クレネ人、アレキサンドリヤ人、キリキヤやアジヤから来た人々などが立ち上がって、ステパノと議論した。
- 6:10** しかし、彼が知恵と御霊によって語っていたので、それに対抗することができなかった。

(A)伝道

使徒 6:1, そのころ、弟子たちがふえるにつれて、ギリシヤ語を使うユダヤ人たちが、ヘブル語を使うユダヤ人たちに対して苦情を申し立てた。彼らのうちのやもめたちが、毎日の配給でなおざりにされていたからである。

イエス・キリストの福音を宣べ伝える事によって弟子達が増えてきた。 私たちは日本人に福音を宣べ伝えても誰もきいてくれない、そんな時私たちは「どうしようもない」と言います。しかしラージャス先生は日本語の辞書に「どうしようもない」という言葉はのっていないと言います。

ヨハネ 14:6, イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。ラージャス先生は、イエス様は「わたしが道だ」と言っておられる、だから道があると言います。「どうしようもない」のではなく道があると言います。

マタイ 7:7, 求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。神様に道を求めると道が与えられるのです。祈りましょう。

ギリシヤ語を使うユダヤ人たち、エルサレムの周りに住んでいてペンテコステの日にペテロのメッセージで救われた人たち。ヘブル語を使うユダヤ人たち、エルサレムに住んでいたユダヤ人。

使徒 6:2, そこで、十二使徒は弟子たち全員を呼び集めてこう言った。「私たちが神のことばをあと回しにして、食卓のことに仕えるのはよくありません。

(B)神の言葉を優先する

神の言葉を後回しにする。ペテロのメッセージの中でペテロはヨエル書、詩篇 16:8~11、Ⅱサムエル 7:12、13、イザヤ 44:3、エゼキエル 36:26、申命記 32:5 を引用しています。詩篇は 150 篇もあるのです。ペテロは聖書の専門家ではありません。ペテロは漁師です。

使徒 4:13, 彼らはペテロとヨハネとの大胆さを見、またふたりが無学な、普通の人であるのを知って驚いたが、ふたりがイエスとともにいたのだ、ということがわかって来た。

ペテロは無学な普通の人です。そのペテロが旧約聖書全体から引用してメッセージをしているのです。使徒たちはどれほど聖書の学びを優先していたかがわかります。私は牧師ですが旧約聖書をペテロのように知りません。私たちはもっと聖書を読むべきです。ただ読むだけでは面白くないので、

①神様はどのようなお方が。②私は何を教えられたか。
をかき出すだけでも恵まれます。

(C) 役員の条件

- ① 御霊に満たされていること
- ② 知恵に満たされていること
- ③ 評判の良い人

これは牧師の条件と言っても難しいです。

① 御霊に満たされていること

I コリント 3:16, あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。

をいつも暗唱していること、聖霊様の臨在を覚えます。

② 知恵に満たされていること

私は気配りができないので「気配りのすすめ」(鈴木健一) という本を買ってきて読みました。

望の事：望(私の息子)が鑑別所に入れられた時、

I テモテ 3:5, …自分自身の家庭を治めることを知らない人が、どうして神の教会の世話をすることができるでしょう。…

役員から言われて、その通りなので福島の断食道場に行って、祈ってきました。

③ 評判の良い人

これは {膝をかがめると祝福を拾う} 失敗したとき謝れるかということです。弱い人は謝れません。謝る強さが必要です。イエス様は神様であられるのに私たちの罪の身代わりとして父なる神様に謝ってくださったのです。他の人から見て評判の良い人。

(D) 選ばれた執事

使徒 6:5, この提案は全員の承認するところとなり、彼らは、信仰と聖霊とに満ちた人ステパノ、およびピリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、パルメナ、アンテオケの改宗者ニコラオを選び、

(E) ステパノへの反論

使徒 6:7, こうして神のことばは、ますます広まって行き、エルサレムで、弟子の数が非常にふえて行った。そして、多くの祭司たちが次々に信仰にはいった。

使徒 6:8, さて、ステパノは恵みと力とに満ち、人々の間で、すばらしい不思議なわざとするしを行なっていた。

使徒 6:9, ところが、いわゆるリベルテンの会堂に属する人々で、クレネ人、アレキサンドリヤ人、キリキヤやアジャヤから来た人々などが立ち上がって、ステパノと議論した。

リベルテン(自由の民) ローマの隷属から解放されたユダヤ人の事、クレネ人、アフリカの都市からエルサレムに入植したユダヤ人

アレキサンドリヤ人=エジプトの港町から来た人、キリキヤは小アジアの南東地方

使徒 6:11, そこで、彼らはある人々をそそのかし、「私たちは彼がモーセと神とをけがすことばを語るのを聞いた。」と言わせた。

使徒 6:12, また、民衆と長老たちと律法学者たちを扇動し、彼を襲って捕え、議会にひっぱって行った。

使徒 6:13, そして、偽りの証人たちを立てて、こう言わせた。「この人は、この聖なる所と律法とに逆らうことばを語るのをやめません。」

使徒 6:14, 『あのナザレ人イエスはこの聖なる所をこわし、モーセが私たちに伝えた慣例を変えてしまう。』と彼が言うのを、私たちは聞きました。」

反論

(1)モーセの律法によっては救われない。

葛西教会にも規則がありまして、問題が起こったときには役員会を開き、役員会で議題を作り、教会会議で多数決で決めます、重要議題のときは2/3以上で決めます。このように規則がないと決議が出来ません。この規則に当たるものが律法です。

規則には罰則がないと規則を決めた意味がありません。モーセ律法には必ず罰則があります。このように律法がないとみんなでうまくやっていくことが出来ません。律法は皆でうまくやっていくための規則なのです。律法を守ったから天国へ行けるというものではありません。

しかし律法を守った人が良い人で守らない人は悪い人というように、律法主義になってしまったのです。ソロモンが正妻を300人、側室を700人持つようになり、側室の中には異邦人もいたので、偶像礼拝をするためにソロモンを誘惑して、偶像を祭る神殿を作ってもらったのです、

ここから偶像礼拝が始まるのです。北イスラエルの19人の王様は、19人とも偶像礼拝をするようになり、イスラエルはアッシリヤに奴隷として連れていかれた。南ユダも12人の王が偶像礼拝をしたので、バビロンに奴隷として連れていかれた。70年後のイスラエルに返してもらえた。

エズラは二度と偶像礼拝をしないように律法の解説書を造らせました。しかしまた律法を破るのではないかと心配になり細則を作るのです。

出エジプト記 20:10, しかし七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはどんな仕事もしてはならない。…あなたも、あなたの息子、娘、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、また、あなたの町囲みの中にいる在留異国人も。…

神様は安息に仕事をするとは守れないので、どんな仕事もしてはならないと言われたのです。しかし律法学者は安息日にはしてはならない仕事を39個も決めてしまったのです。例えば、病人を治してはいけない、食事のために火を焚いてはいけない、布団を運んではいけない、など、これらを守らないと死刑にされるのです。イエス様は安息日に病人を治したので死刑にされそうになったのです。律法は罪を示すためにあるのです。

ローマ 3:23, すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、

全ての人々が罪人であることを教えるために律法があるのです。罪人は天国へ入れてもらえませんがイエス・キリストが十字架で人間の罪の身代わりとして死んでくださったのです。そしてイエス・キリストは死人の中から三日目に蘇られました。

エペソ 2:8, あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。

イエス・キリストの十字架での身代わりと、イエス・キリストの復活を信じるだけで救われるという方法を神様はとってくださいました。これが神様からのたまものです。感謝して信じればよいのです。人間はみな罪人ですから神様の恵みによらなければ誰も天国へ行けないのです。

(2)イエス・キリストは神殿を壊している

ユダヤ人が神殿を崇拝する崇拝の仕方はものすごいものです。ソロモンが神殿が完成されたとき祈りました。

「イスラエルの神、主よ、あなたは宮よりも大きい方ではありませんか、しかし、この宮はダビデと約束され、主のために建てられた宮なのですから、この宮で祈ることはすべて聞いてください。罪びとが来て祈るならば赦してください、病のものが来て祈るならば病をいやしてください、地震が起こり、飢饉になり、地が荒れはてる時、雨を与えて教えてください、戦いが起こったとき、それらすべての祈りに答えてください、異邦人が来て祈る時も聞いてください。イスラエルの神、主よ、この場所でささげる祈りと願いを聞いて顧みてください」(I列王記 8:22~53 参照)

ここを読みますとユダヤ人の神殿に対する信仰はものすごいものです、それなのにイエス様は

ヨハネ 2:19, イエスは彼らに答えて言われた。「この神殿をこわしてみなさい。わたしは、三日でそれを建てよう。」

と言われたものだからユダヤ人が怒るのも当然なことです。それは

ヨハネ 2:20, そこで、ユダヤ人たちは言った。「この神殿は建てるのに四十六年かかりました。あなたはそれを、三日で建てるのですか。」

神殿を建てるのに46年かかっているのです、それを壊してみなさい、わたしは三日で建てると言われたものだからユダヤ人が怒るのも当然なことです。しかしイエス様は

ヨハネ 2:21, しかし、イエスはご自分のからだの神殿のことを言われたのである。イエス様はご自分の復活のことを言われたのです。

ヨハネ 11:25, イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」

結論

使徒 6:7, こうして神のことばは、ますます広まって行き、エルサレムで、弟子の数が非常にふえて行った。そして、多くの祭司たちが次々に信仰にはいった。

イエス・キリストの福音を宣べ伝えると悪魔は必ず妨害してきます。悪魔は今回はリベルテンの会堂に属する人々を用いてステパノに向かってきたのです。悪魔にとってキリストの福音ほど嫌なものはないのです、それは今まで悪魔の部下であった人間が、キリストの福音を信じることによって、キリストの部下になるのです。

もっとわかりやすい言い方をすると今まで悪魔の奴隷であった人がキリストの福音を信じることによってキリストの奴隷になるのです。奴隷という言葉は嫌いだと言われるかもしれませんが、しかし

ローマ 6:16, あなたがたはこのことを知らないのですか。あなたがたが自分の身をささげて奴隷として服従すれば、その服従する相手の奴隷であって、あるいは罪の奴隷となって死に至り、あるいは従順の奴隷となって義に至るのです。

ローマ 6:22, しかし今は、罪から解放されて神の奴隷となり、聖潔に至る実を得たのです。その行き着く所は永遠のいのちです。

創世記 2:17, しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

悪魔に誘惑されて善悪の知識の木から実をとって食べてから悪魔の奴隷になったのです。しかしイエス・キリストを信じることによってキリストの奴隷になるのです。

マルコ 10:45, 人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」

「贖い」(あがない)という言葉は日常あまり使いません。この言葉の意味は戦争で捕虜となった兵士の解放や、奴隷の解放や、遊郭に売られていた女の人を買い戻すために相手の要求する金額を払って買い戻すという意味です。悪魔の奴隷であった私たちを、神の御子(キリスト)の命という代価を払って悪魔から買い戻してくださり神の奴隷としてくださったのです。

ヨハネ 1:12, しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名(キリスト)を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

悪魔にとって今まで自分の奴隷であった人が、キリストを信じることによって神の子供とされるのです。だから悪魔はキリストの福音を語る人を徹底的の妨害するのです。

【説教:大木英雄牧師】